



研修施設として認定された登別すすらん病院の志田理事長（左）と指導医の深町診療部長

リハビリ研修施設に

すすらん病院

登別すすらん病院（登別市青葉町、志田勇人理事長）が、日本リハビリテーション医学会の研修施設に認定された。西胆振では日鋼記念病院（室蘭市）に次いで2施設目。リハビリテーション認定医、専門医の研修・育成可能な病院として、地域医療の充実を図る考えだ。（石川昌希）

研修施設は現在、全国に610施設ある。同医学会が認定するリハビリテーション科専門医が指導医として常勤し、カリキュラムに基づき研修を行う。リハビリテーションに関する教育・研究活動が行われていることや、原則としてリハビリテーション科を診療科と

医学会認定 地域医療に力

して掲げていることなどが資格要件となっている。

リハビリはおおむね、入院による急性期と回復期、在宅などの生活期に分類される。同院は生活期に位置付けられる訪問リハビリテーションに力を入れており、研修ではカリキュラムと並行して訪問にも関わってもらう方針だ。

施設認定は4月21日付。リハビリテーション専門医である同院の深町唯博診療部長も同日、指導医として認定された。認定期間はいずれも2024年3月末まで。深町診療部長は「リハビリマインドを持つ医師をたくさん育てたい。チーム医療のリーダー役である専門医が増えることで、地域全体の医療充実に貢献していきたい」と話している。